令和7年度

事業所評価結果

グループホームうえの

社会福祉法人
十日町福祉会

ケアホームうえの

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営				
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を基に月ごとの目標を設定し、実践につながるようサービスを行っている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な交流は少ないが、地域の行事に参加したり近隣の商店での買い物・バス停掃除等を通して交流の機会が持てている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な立場から意見をいただき、職員で共有してサービス向上に活かしている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告など連絡を行っている。運営推進会議で包括支援センターの職員から意見をいただいている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加して学んでいる。スタッフ会議で身体拘束をしないケアについて話し合いを行い周知している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会を参加して学んでいる。スタッフ会議で虐待に繋がりかねない不適切ケアについて話し合いを行っている。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中で出来る事は一緒に行っているが、加齢に伴い難しくなっている。介護業務に追われてしまっている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族・親族の面会の機会は増えたが、入居しているとそれまでの馴染みの関係の継続が難しい。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向は実現が困難な事もあるが、普段の生活や担当者会議等で聞き取り、把握に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議を開催し、入居者、家族の意見を聞いている。スタッフ会議で話し合いを行い、介護計画の見直し、作成を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間シートに日々の様子を記録し情報共有している。会話や行動等も記録に努め、対応の検討、見直しを行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況の変化があった時は職員で話し合い、家族に報告・相談、サービス内容を検討、変更している。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の商店での買い物や施設内外の行事に参加している。

		にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立をたてる時に好みを聞いてメニューに取り入れる事もある。食事の下拵えもできる範囲で一緒に行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士の指導を受け、栄養バランスがとれた食事の提供ができている。摂取量の確認も行っている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアができていない。夕食後は義歯洗浄や仕上げ磨きを行っている。拒否があり毎日行えない方もいる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた支援ができている。職員間で情報共有、連携して行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日や時間は業務の都合等で決めてしまうことが多い。入りたくないときは無理強いせず、気持ちよく入浴していただけるよう心掛けている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活リズムに合わせて休息できるよう支援している。寝具など居室の状態を整え、室温調整を行っている。

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの方が自宅での生活を希望しているため思いに沿った支援が難しいが、意向を伺い、出来る範囲で対応できるよう努めている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前の生活習慣や友人関係の継続は難しいが、本人や家族に聞きながら入居前の生活習慣に近い暮らしができるよう意識している。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態確認を行い職員で情報共有している。状態の変化がある時は家族や主治医と連携をとりながら対応している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	加齢や環境の変化によりこれまでの習慣の継続は難しいが、出来る限り入居者のペースで生活できるよう支援している。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に協力していただき、自宅で使用していたものや写真などを持参されている方もいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の祭りやイベントなどに参加したり希望に沿って買い物に出掛けている。職員の業務の都合で難しい場合もあった。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが出来る事を行い、活動に参加しているが、役割や楽しみを持っている方は少ない。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	耳が聞こえにくい方が多く、職員が会話の橋渡しをしている。会話が少ない方もいて偏りが出てしまうが、一人ひとりと会話や活動ができるよう心掛けている。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営				
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を基に月ごとの目標を設定し、実践につながるようサービスを行っている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常的な交流は少ないが、地域の行事に参加したり近隣の商店での買い物・バス停掃除等を通して交流の機会が持てている。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	様々な立場から意見をいただき、職員で共有してサービス向上に活かしている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている (B) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故報告など連絡を行っている。運営推進会議で包括支援センターの職員から意見をいただいている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修に参加して学んでいる。スタッフ会議で身体拘束をしないケアについて話し合いを行い周知している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会を参加して学んでいる。スタッフ会議で虐待に繋がりかねない不適切ケアについて話し合いを行っている。

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中で出来る事は一緒に行っているが、加齢に伴い難しくなっている。介護業務に追われてしまっている。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族・親族の面会の機会は増えたが、入居しているとそれまでの馴染みの関係の継続が難しい。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の意向は実現が困難な事もあるが、普段の生活や担当者会議等で聞き取り、把握に努めている。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議を開催し、入居者、家族の意見を聞いている。スタッフ会議で話し合いを行い、介護計画の見直し、作成を行っている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	24時間シートに日々の様子を記録し情報共有している。会話や行動等も記録に努め、対応の検討、見直しを行っている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状況の変化があった時は職員で話し合い、家族に報告・相談、サービス内容を検討、変更している。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣の商店での買い物や施設内外の行事に参加している。

		にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立をたてる時に好みを聞いてメニューに取り入れる事もある。食事の下拵えもできる範囲で一緒に行っている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養士の指導を受け、栄養バランスがとれた食事の提供ができている。摂取量の確認も行っている。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.)あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアができていない。夕食後は義歯洗浄や仕上げ磨きを行っている。拒否があり毎日行えない方もいる。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりに合わせた支援ができている。職員間で情報共有、連携して行っている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日や時間は業務の都合等で決めてしまうことが多い。入りたくないときは無理強いせず、気持ちよく入浴していただけるよう心掛けている。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の生活リズムに合わせて休息できるよう支援している。寝具など居室の状態を整え、室温調整を行っている。

40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの方が自宅での生活を希望しているため思いに沿った支援が難しいが、意向を伺い、出来る範囲で対応できるよう努めている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前の生活習慣や友人関係の継続は難しいが、本人や家族に聞きながら入居前の生活習慣に近い暮らしができるよう意識している。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	状態確認を行い職員で情報共有している。状態の変化がある時は家族や主治医と連携をとりながら対応している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	加齢や環境の変化によりこれまでの習慣の継続は難しいが、出来る限り入居者のペースで生活できるよう支援している。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族に協力していただき、自宅で使用していたものや写真などを持参されている方もいる。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の祭りやイベントなどに参加したり希望に沿って買い物に出掛けている。職員の業務の都合で難しい場合もあった。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりが出来る事を行い、活動に参加しているが、役割や楽しみを持っている方は少ない。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	耳が聞こえにくい方が多く、職員が会話の橋渡しをしている。会話が少ない方もいて偏りが出てしまうが、一人ひとりと会話や活動ができるよう心掛けている。